（参考）BIツールの活用事例

○ 農林水産省において、CSFにおける経口ワクチン効果検証をデータ整理・分析にBIツールを活用。

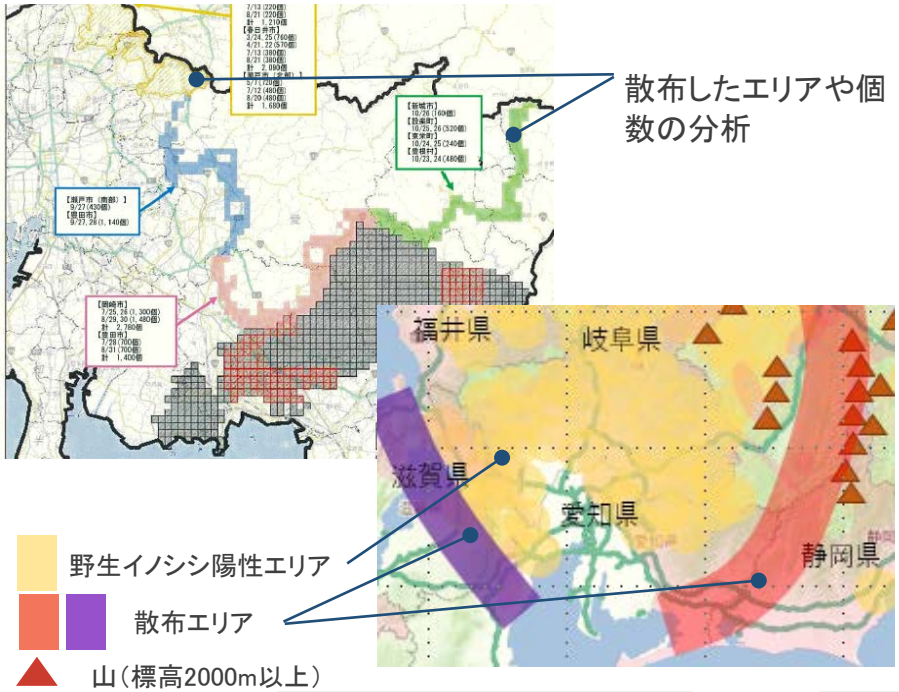
○ BIツール活用により作業時間が大幅に短縮され、さらにデータ単位（例　県・市町村）や種々の条件を組み合わせた分析が容易となる。

CSFワクチン散布地域と効果検証

専門家検討会での検証に向けて、**膨大な経口ワクチンの散布データ（18都府県20万個）及び野生イノシシのサーベイランスデータ（20県1万3千件）の整理・解析を1か月で実施**

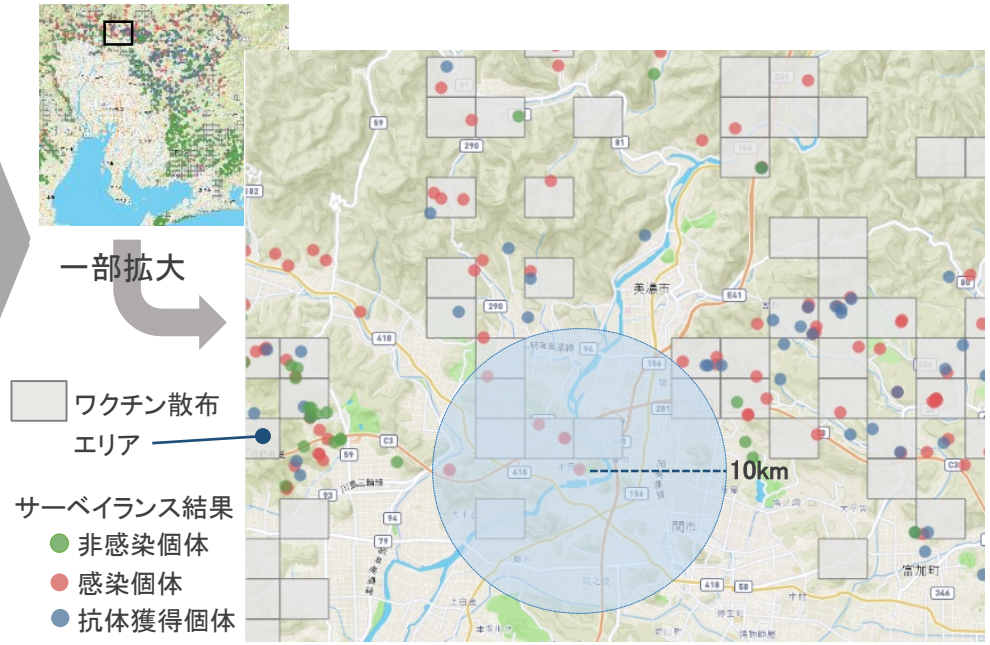
これまでの分析

・手作業による描画により、膨大な時間がかかる。
・大まかな情報での描画では正確な分析には限界がある。



Tableau導入による効果

・緯度と経度のデータから自動でマッピング。さらに、位置情報を使って、特定範囲を描画。
・作業工数の削減とともに、詳細な分析が可能。



作業工数	工数削減効果	作業工数
224時間（29人/日）	**▲214時間**（28人/日）	**10時間**（1人/日）